

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 27 日 (17:00 ~18:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 奥 知佳/青木あつ子/安藤いく子/馬場智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	人	人	4人

前回の改善計画	利用者や家族と個別にもっとかかわりを持ち、傾聴するようにしたい。最低でも1日1回以上声がけ会話を行う。スタッフ全員が情報の共有を心がける
前回の改善計画に対する取組み結果	通所開始時、通所を拒んでいた利用者が継続して通所出来る様になった。 夜中に救急車を要請してまっていた利用者が通所や訪問を通して救急車の要請をしなくなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?			4		4
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		4			4
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		4			4
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		4			4

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者本人や家族の話をゆっくり聞いて、信頼関係を構築出来ている。その理由として、上記記載のように落ち着いた生活を送れている。また、家族の介護に対しての相談ごとには、スタッフ一人ひとりが傾聴し、解決にむけての話し合いをしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
引き継ぎノート作成行ったり、ミーティングを行った際は書面を作成して情報の共有をしているが全員に共有が出来ていない。また、月1回のミーティングへの出席率が悪く共有が出来ない。 利用者の個別事情がありなかなか情報収集が出来ない。(単身の利用者家族であり仕事で忙しく連絡が取れない等)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者・家族との関わりをさらに多くし、話しやすい環境作りを行う。 スタッフの取り組んだことを評価し、良い所は全員が共有していく環境を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 27 日 (17:00 ~18:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 奥 知佳/青木あつ子/安藤いく子/馬場智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	人	人	4人

前回の改善計画	本人の目標や希望など、ミーティングにおいて検討した支援の情報をケアマネに提供して行く。情報の共有が出来ていないこともあるので、記録ノートの確認と確認者のサインを意識的に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	記録ノートに情報を書き込んで共有している。サイン出来ている時と出来ていない時がある。前回に比べスタッフの情報への意識は高くなったように思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	1		4
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		4			4
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4			4
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2	2		4

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご希望が表現できる方は傾聴しご希望に添える様に出来るだけ答え、行動が出来ていると思う。顔なじみの職員と利用者関係なので、体調の変化や気持ちの変化にすぐ気付くことができ希望を聞き出せていると思う。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 認知症の方の希望を聞き出すことが難しい。また、聞き出すことが出来てもその希望が毎回変わってしまい対応出来ない。(真意が分からない)
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ミーティングなどで個別検討を数名単位で行い、ケアマネからの情報とスタッフが知り得た情報を共有して、利用者の希望に沿ったケアが行えるようにする。 共有ノートの確認サインが必ず行われるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 27 日 (17:00 ~18:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 奥 知佳/青木あつ子/安藤いく子/馬場智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	人	人	4人

前回の改善計画	引き継ぎ時間を設けていないので、朝の申し送りが全員で行えず、共有出来ないことがある。申し送りタイムを短時間でも設ける必要がある。また、連絡ノートを再検討し、記入者、確認者をはっきりさせる。
前回の改善計画に対する取組み結果	引き続き申し送りタイムが取れないので連絡ノート（共有ノート）を作成し、サインのようにした。また利用者の変化については、その都度共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	1		4
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	1			4
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4			4
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	3			4
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	2			4

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の体調の変化や不満に対して、その都度対応出来ていると思う。また、スタッフも気づいたことはケアマネ・管理者に報告したうえで情報共有している。また、体調の変化については看護師が医療機関と連携し対応している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らしについては、本人に確認しようとしても聞き取りが難しい場合がある。家族に確認したいが忙しくお話しする時間が持てない事もある。 スタッフへの伝達が共有ノートがあるものの、時間がかかってしまう時がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人の変化について気付き、迅速に対応する。共有ノート（連絡ノート）や書面にて共有し、情報に対する意識を強くもってケアにあたる。不明瞭な所は必ず確認をとる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 27 日 (17:00 ~18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 奥 知佳/青木あつ子/安藤いく子/馬場智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	2人	人	4人

前回の改善計画	ケアマネが以前の生活スタイルや暮らし方、地域のかかわりをアセスメントしスタッフに情報提供体制をして行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	ライフスタイルについてのアセスメントは出来ているものの、地域との関りについてはあまり出来ていない、スタッフへの情報提供がなされていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		2	2		4
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2		2		4
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	1		4
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			3	1	4

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 本人と家族との関係が切れないように、電話等をし近況など伝える様にしている。また、送迎時に家族と自宅での様子や夜間の様子など聞けるよう積極的に会話するように心がけている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者が以前より地域との関りを持っていなかったり、また関わりたくないという方もいる。スタッフが地域資源にどのようなものがあるのか、把握出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 家族との関係については積極的に関りが持てるものの、地域資源については無知である。今後は地域資源について調査し、利用者のために必要なものを積極的に活用していきたい。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 27 日 (17:00 ~18:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 奥 知佳/青木あつ子/安藤いく子/馬場智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	4人	人	4人

前回の改善計画	どんなものがあるか、地域の資源を調べ、その上で活用出来るものは活用して行く。また自分達も専門施設の職員としての自覚のもと地域の資源の1つとして提供できるものは提供して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源について調査出来ておらず、もっと知るべきものがあると思う。 地域の方がボランティアに来てくれている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	3		4
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	2			4
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	3			4
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	1			4

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者・家族のニーズに合わせ支援出来ていると思う。 日々の記録などからいち早く状態の変化に気づき対応出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ボランティア以外に地域資源は得られていない。事業所だけで利用者を支えている感がある。 地域資源の知識不足。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 自分たちの事業所のみで利用者を支えるのではなく、地域資源について調べ活用できるものは積極的に活用していきたい。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 27 日 (17:00 ~18:00)

6. 連携・協働

メンバー 奥 知佳/青木あつ子/安藤いく子/馬場智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	2人	人	4人

前回の改善計画	ケアマネが地域での情報を得やすいことから、他事業所等の会議に出席しそこで得られた情報を共有して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	他事業所等の会議には参加出来ていないが、区内の小規模多機能事業所と連携をとり情報交換や意見交換を行えるように、懇親会を開いている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		2	1	1	4
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		2		2	4
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		4			4
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2	1		4

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 小学生の職業体験・区内の看護学生の実習の受け入れを行っている。 地域行事には参加出来ている。(豆まき・ひなまつり・クリスマス会等) 事業所での年三回バザーの開催
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ケアマネが担当者会議等で多職種と連携を取っているが、自治体等の会議に参加できるような体制を作っていく。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 地域行事には参加出来ているので引き続き継続していきたい。他事業所との交流を行った際は情報提供する体制を整える。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 10 月 27 日 (17:00 ~18:00)
7. 運営	メンバー	奥 知佳/青木あつ子/安藤いく子/馬場智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	2人	人	4人

前回の改善計画	今後地域の民生委員や自治会等と交流して行きたい。まずは2カ月に1回開かれている運営推進会議のメンバーに民生委員や自治会の役員がいるのでここをきっかけとして交流して行きたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	推進会議内でふくろうの家の運営をはじめ、地域における課題を話したり、意見交換が行われている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		2	2		4
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4			4
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	2		4
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2		2	4

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者・家族等からの意見などは、ミーティングで共有し検討して対応している。 バザー・お茶会を開催し、事業所を知ってもらえるように努力している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ふくろうサポート全体での地域協働は行われているが、ふくろうの家単体での地域協働は行われていない。 ご利用を必要としている方々に事業所が知られていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 事業所を多くの方に知ってもらいたい。その為に、地域の方との交流を積極的に行いより身近な事業所と認識してもらおう。(例) 消防訓練に参加してもらおうなど。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 29 年 10 月 27 日 (17:00 ~18:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー 奥 知佳/青木あつ子/安藤いく子/馬場智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	2人	人	4人

前回の改善計画	ミーティングで具体的な例を出して防止策を話し合う。なぜ事故が起きたのか、発生→原因→その時の対応・処置→防止策と手順を踏んで行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	ヒヤリハットと新たに作り直した。ミーティングで防止策について意見交換が行われた。(事故が起きない為にはどうすればいいのか。起こったときの対処の仕方など)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		2	2		4
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2		1	4
③	地域連絡会に参加していますか			1	3	4
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		2	2		4

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること スタッフ同士で声掛けを行い、コミュニケーションを密にして事故が起こらない様にしている。また、共有すべき点については、連絡ノートや書面にて伝達している。 研修のお知らせは、声かけし参加してもらえるように働きかけている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事故の恐ろしさを自覚していないスタッフもいる。 ヒヤリハットを新たに作成したが、ほとんど使われていない。認知度が低い 研修の声かけはしているものの、出欠についてはスタッフによってバラつきがある
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) リスクマネジメントは重要なことであり、スタッフ間の意識の違いや安易さから事故が起きる事が多い。ミーティングを通して十分に話し合い共有していくようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29 年 10 月 27 日 (17:00 ~18:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	奥 知佳/青木あつ子/安藤いく子/馬場智子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4人	人	人	4人

前回の改善計画	個人の尊厳について、虐待や行動制限のない支援を全スタッフ再認識する為にも研修やミーティングで接遇、虐待、行動制限等について学ぶ。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待や接遇等について研修が行われた事により、スタッフの意識が高まった。研修に参出来なかったスタッフには、プリントを配り意識してもらった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3	1			4
②	虐待は行われていない	1	3			4
③	プライバシーが守られている	1	1	2		4
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3			4
⑤	適正な個人情報の管理ができています	1	3			4

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体的虐待は行われていない。(暴力行為など) スタッフ同士のコミュニケーションを密にし、困っている事など相談できる環境である。そのような環境を作る事によって、イライラしてケアにあたる事がないようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
スタッフの中には、口調が強くなったり、言葉によって行動制限をしてしまったりしている時がある。それが虐待であることを、個々が認識してゆくように研修していく。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
個々の認識の違いがないように、虐待についての研修を定期的に行う必要がある。利用者が安心して生活が送れるように行動制限等の言葉が出ないように支援する。	